

実例 ま・あ・さ・か・あっ！！

オイルとグリースを塗布した！そのとたん！！

- 1.名称 : 排気ファン(気体 160) ・モータ容量 : 45KW-4P ・1785rpm ベルト増速 2985rpm ・軸受 : 6313C3 ・潤滑方式 グリス給脂(手動)
- 2.履歴 : 2006年05月 分解整備(特殊なグリス使用)その3ヶ月後、明瞭なる保持器周期の出現。
: 2006年12月 バランス修正後、軸受異常(保持器の周期顕著)と異音有り、
: 同月、数日後に分解整備、通常使用されているグリスの波形採取と オイルとグリスでの波形比較で明瞭なる保持器の周期が出現した。異常現象は の主因と特定するが、2000rpm 6314の設備では異常は無し、回転数とも関係があるようだ。今後、軸受の型式とも合わせて総合的な検証が必要。

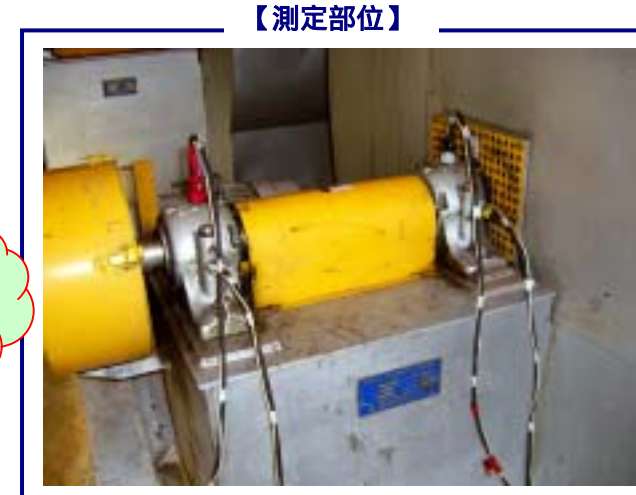
3.推移 ・SA-Pro 加速度値 (m/s²)

部位	5/14 '06	6/9	8/7	12/17	12/23MO系	12/23 使用
03V	6.91	13.42	13.29	42.67	1.51	3.37
04V	2.8	12.92	15.79	35.04	1.67	8.0

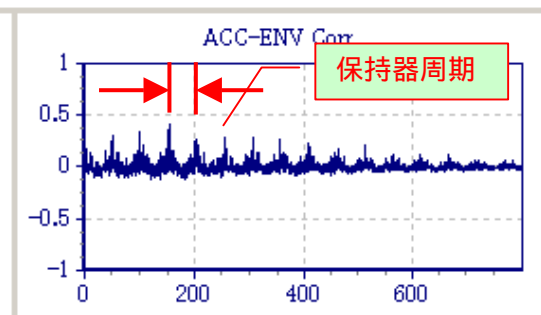
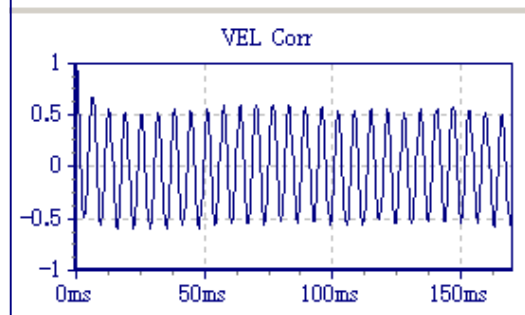
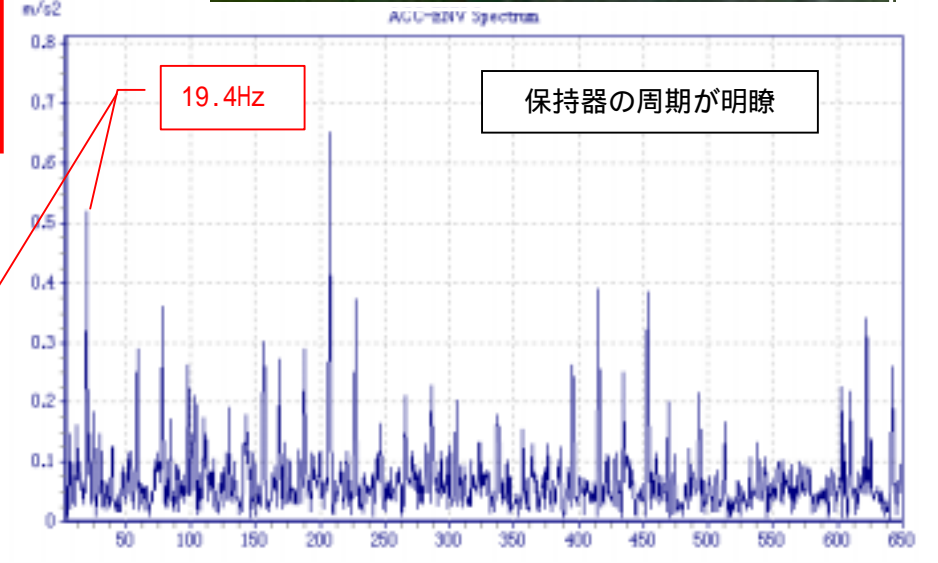
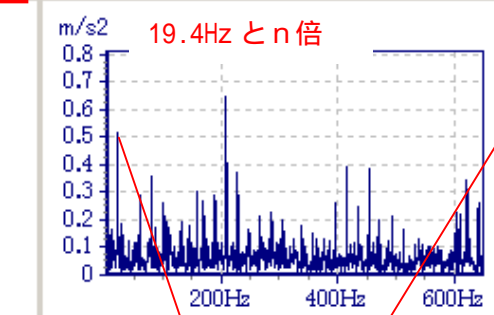
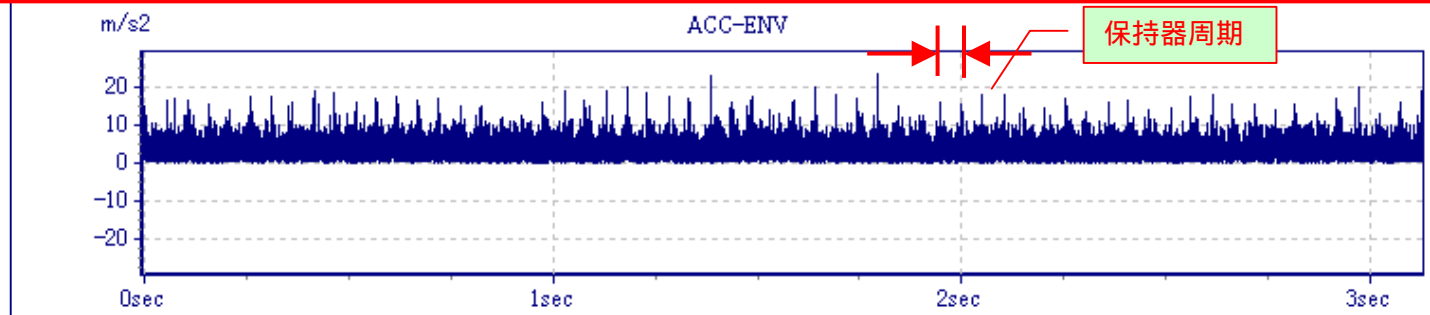
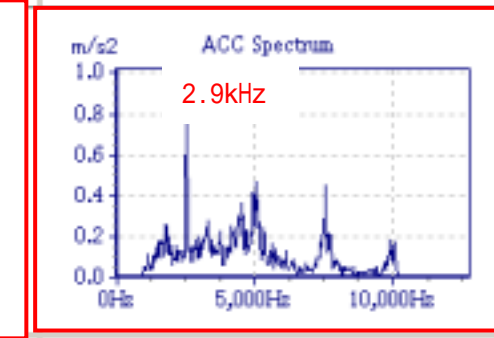
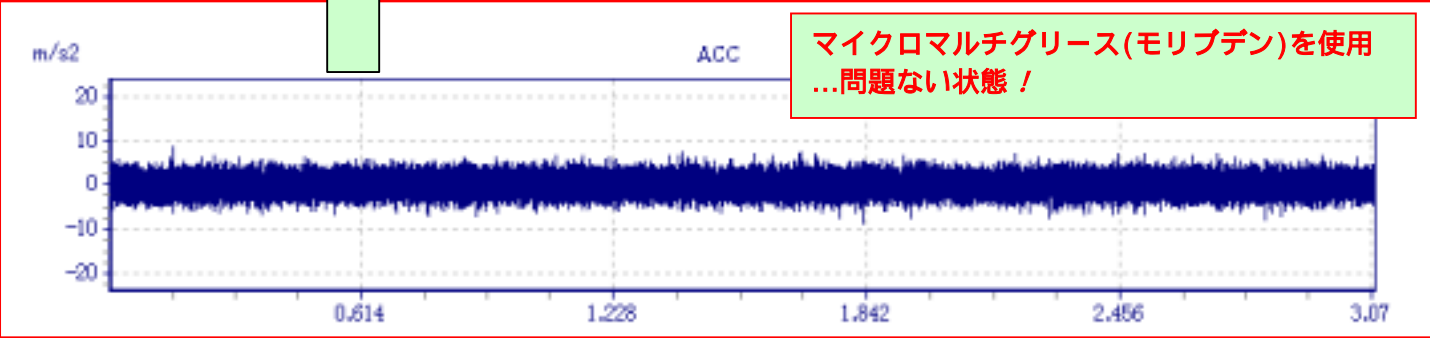
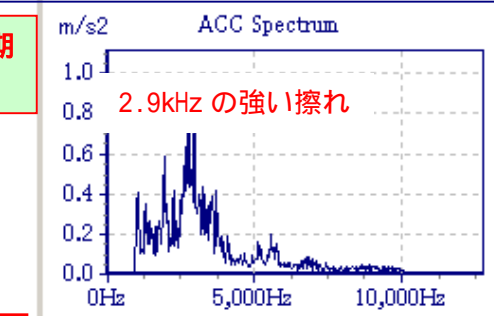
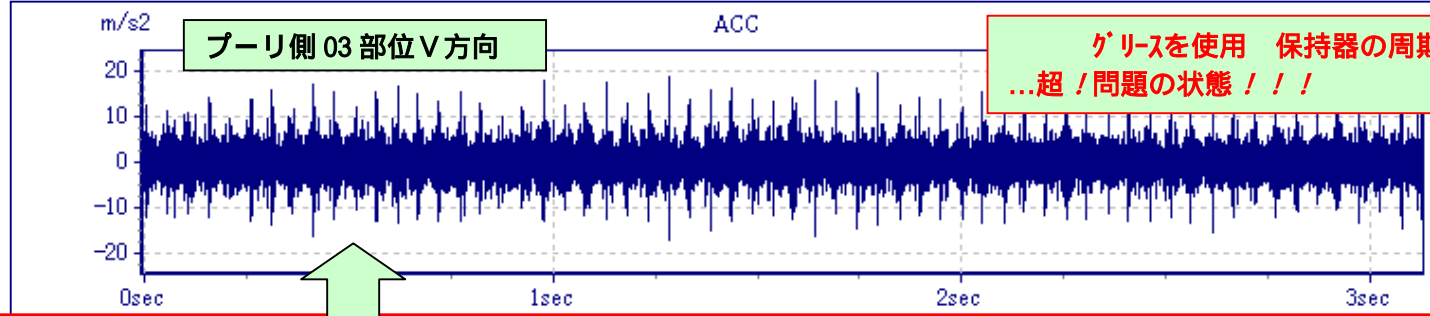
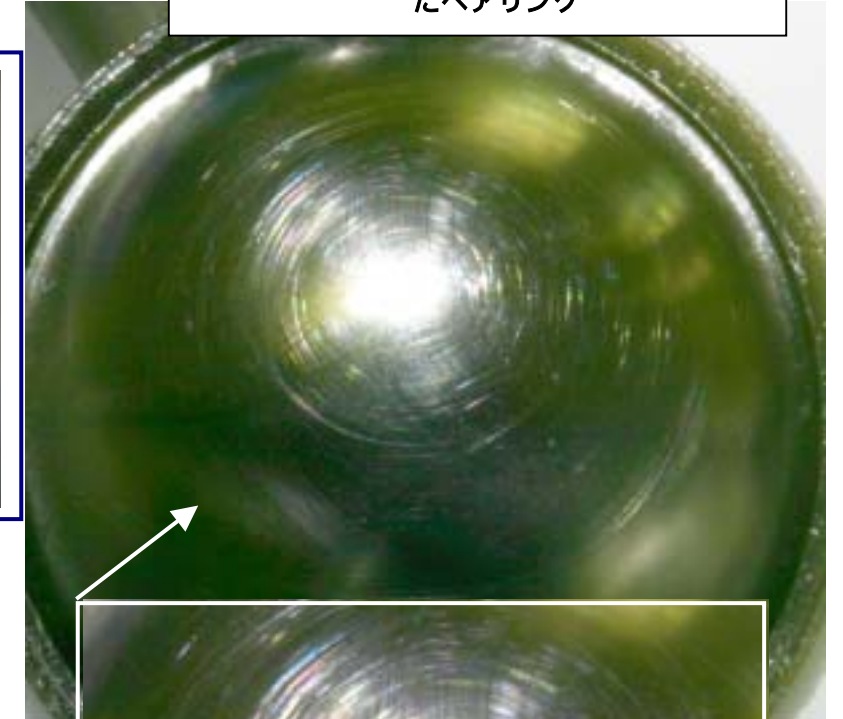
・客先の加速度値 (×9.8m/s²)

部位	12/23MO系	12/25	12/26	12/27	12/28	12/29	1/4 '07
03V	0.3	1.2	0.96	3.35	3.85	3.74	3.86
04V		1.7	1.15	1.48	1.73	2.28	2.55

再再度の分解整備が必要



【03 プーリ側】12/23日の分解整備で得られたベアリング

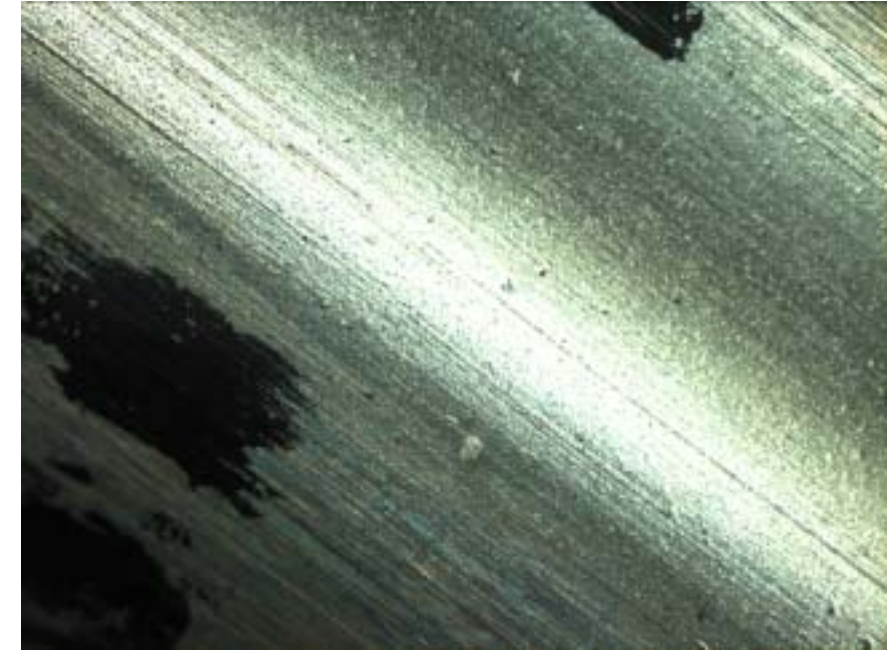
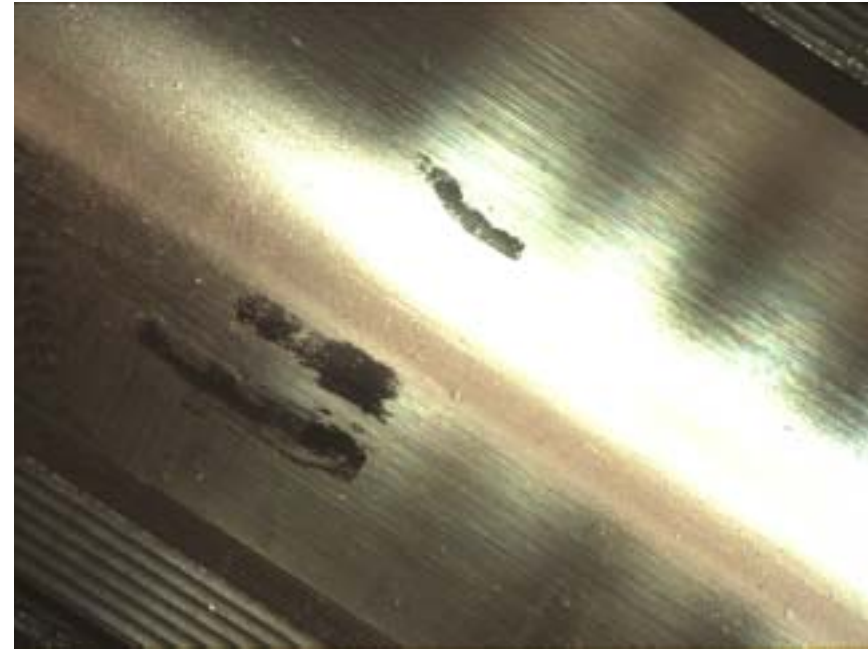
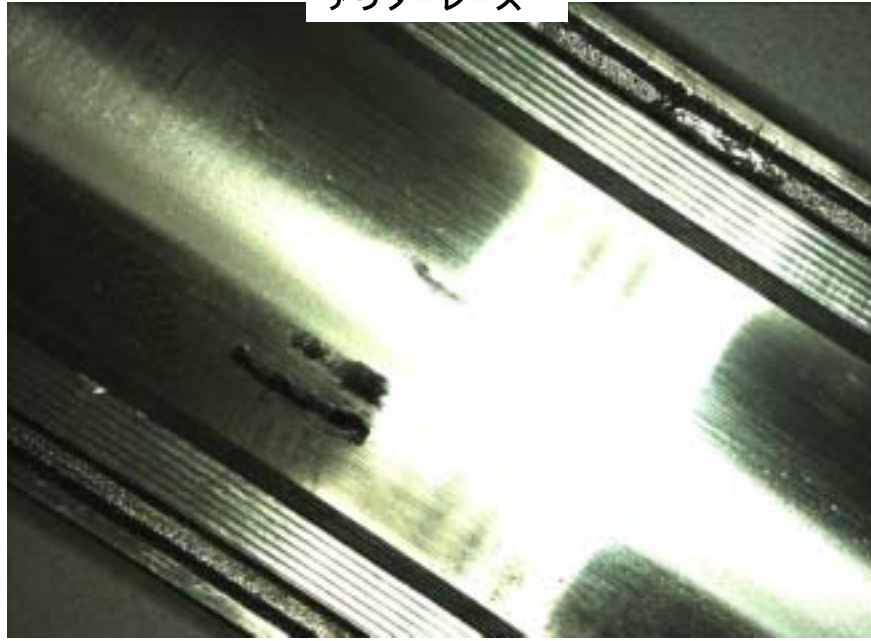


ベアリング 6313C3		回転数 2988			
fr	2fr	3fr	fp	12 数	
周波数	49.80	99.60	149.40	597.60	
周期	20.08	10.04	6.69	1.67	
fo	fi	fb	2fb	fc	
周波数	152.93	245.47	101.41	202.82	19.12
周期	6.54	4.07	9.86	4.93	52.31

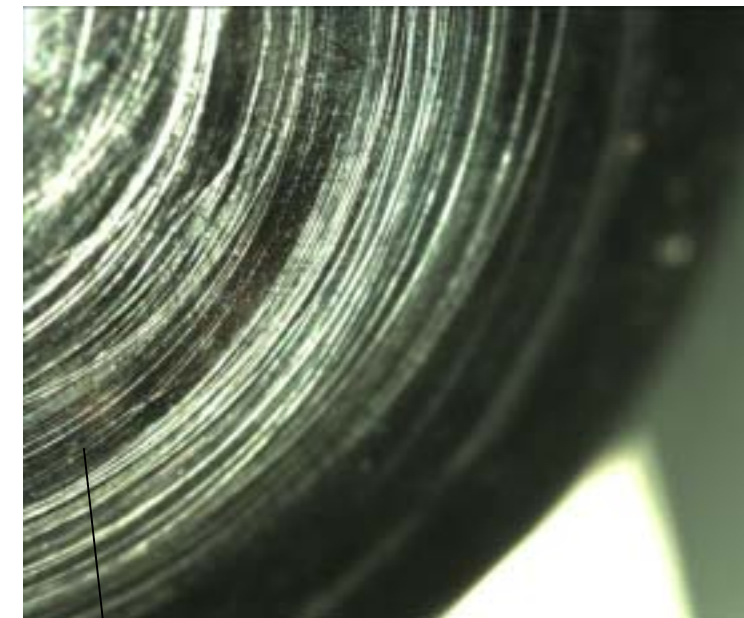
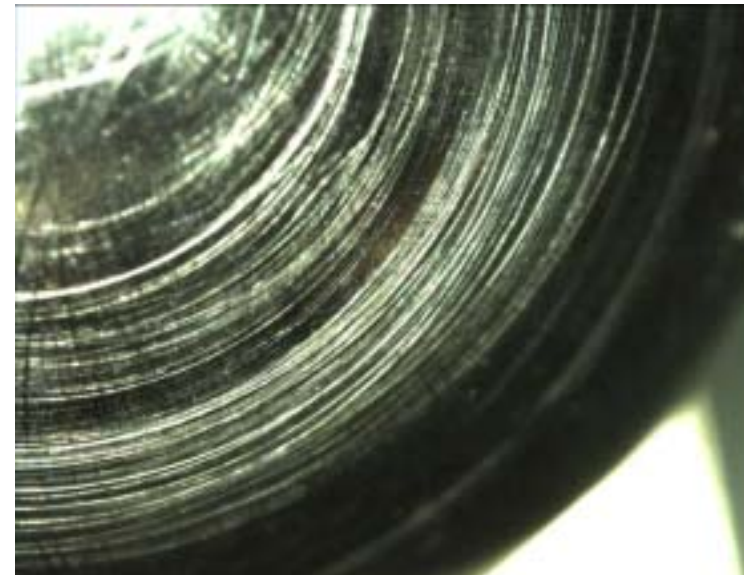
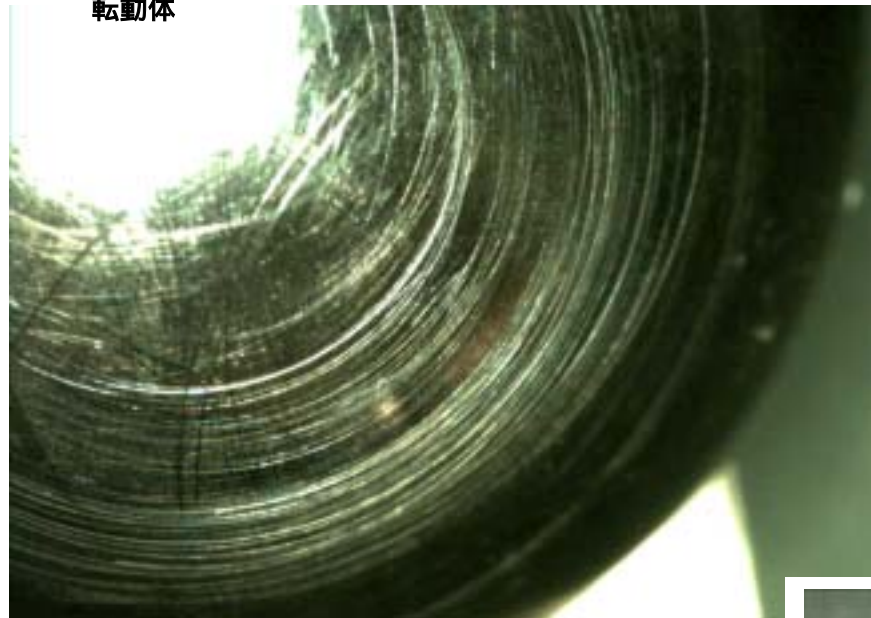
再度分解整備を実施予定。
摩耗部のグリス、ベアリングはメーカーへ送付分析
こちらもフェロ分析を実施予定。

精密な画像

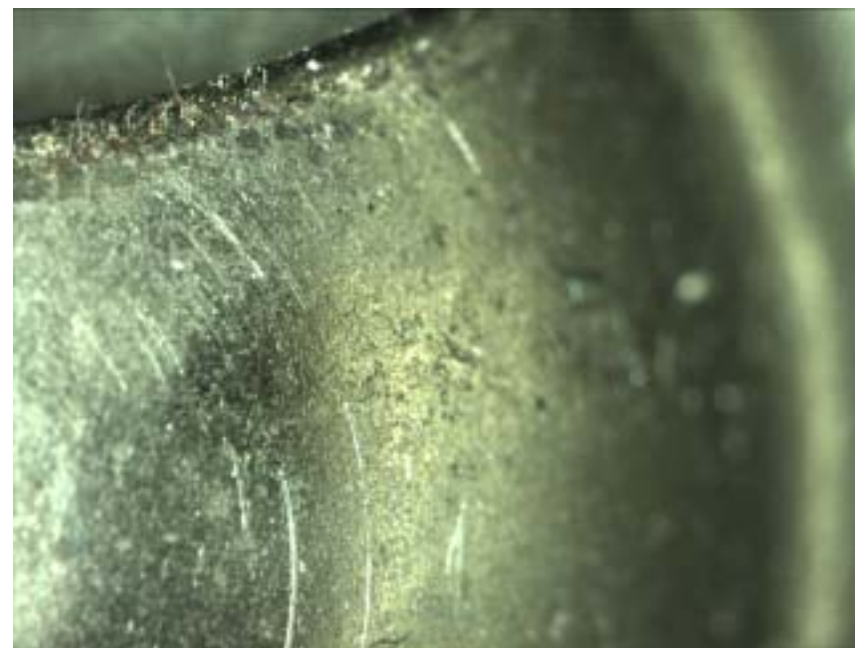
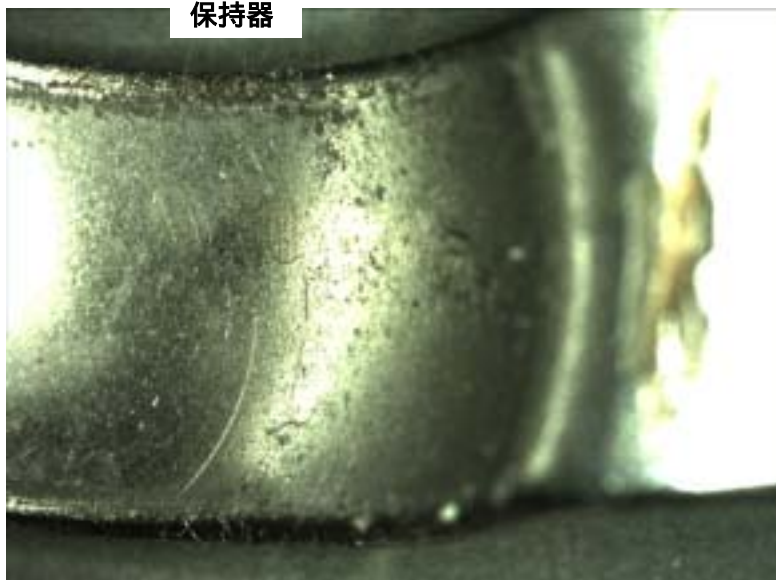
アウトターレース



転動体



保持器



転動体(ボール)と保持器の間で強い擦れが発生して、回転性能を狂わした。
この現象は、2000rpm以上で軽荷重な軸受で深溝のタイプで顕著です。
また、新品に整備された軸受部にオイル(添加剤)を使用するとアット
言う間に保持器の周期が現れる。
この画像は、極圧タイプのグリースを使用して加速度値が上昇。約半年後に
分解整備したベアリングを精密拡大しています。